

言語聴覚部門

新人教育の目的

- 人に寄り添い、相手が求めていることを見極め、対応できる人材の育成
 - 知識や技術を身に付け、他職種と協力して支援できる人材の育成
- ⇒ 「コミュニケーション、聞こえ、食べる」どれも人が生きていく上で欠かせない領域を支援するスペシャリストの基礎を学ぶ

言語聴覚部門の卒後教育

➤ 3年間で急性期・回復期を経験するローテーション教育

※場合により変更もあります

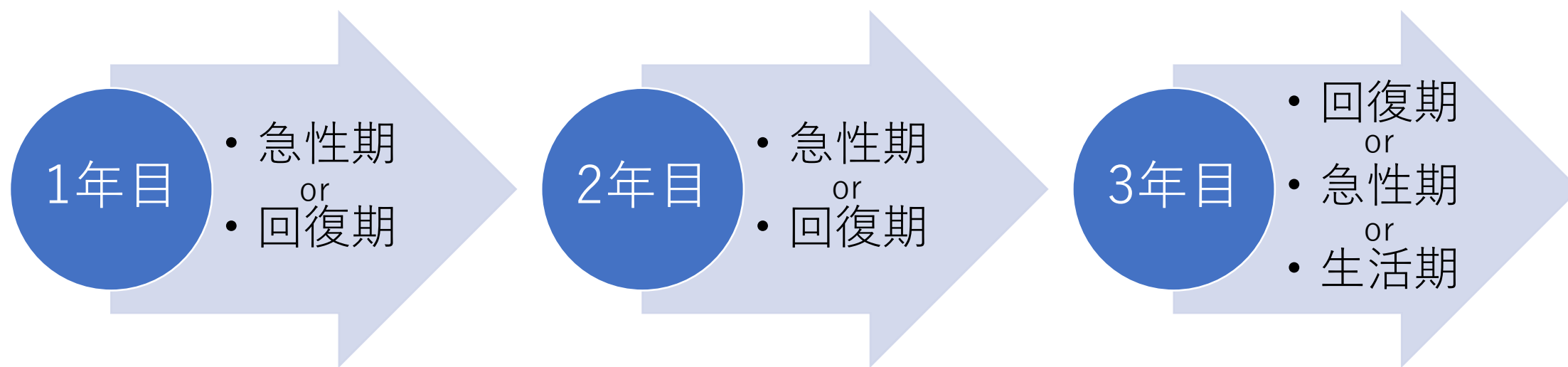
ローテーション教育の目的

- ・ 様々な疾患を理解する能力を身に付ける
- ・ 患者、家族を支援できる能力を身に付ける
- ・ リスク管理能力を身に付ける
- ・ 他職種との連携を身に付ける

➤ 症例、学術発表

- ・ 科内、福島県言語聴覚士会の学術発表を目標に自らの学びや向上心を身に付ける

言語聴覚部門 卒後教育ローテーション例



※急性期＝星総合病院、回復期＝三春病院、生活期＝オリオン・田村市民病院

3年間をかけて急性期・回復期を経験し様々な学びを得る

※3年目からは場合により、生活期の施設へ異動することもあります。